

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年10月15日	
		作成部署	土木建築部治水総括室砂防室	
事業名	柿ヶ成川 通常砂防事業	構想番号	(土・砂) 構-19-1	
		地区名	宮津市喜多地内	
概算事業費	5.3億円	事業期間	平成10年度～平成21年度	
事業概要	砂防堰堤2基(既設堰堤の嵩上げ、新設)			
関連する 公共事業	治山事業、河川事業			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・ 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・流域は自然林や人工林となっているため、これらの自然環境をできるだけ残す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2号砂防堰堤については、適正な土砂移動及び溪流の生態系の連続性を保ち、良好な自然環境を可能な限り残すため、透過型を採用する。 	△
	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事に伴い発生する建設副産物について、リサイクル及び再資源化に努める必要がある。 ・工事車両の通行により騒音、排気ガスが増加する可能性があるため、これらをできるだけ制限する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事車両の通行時間を制限したり、台数を減らす等の対策を実施する。そのため、2号砂防堰堤にダブルウォールを採用し、あわせて建設発生土の有効活用を図る。 	△
	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事箇所周辺には、緑豊かな自然環境が多く残されているため、これらへの影響を十分配慮する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法面保護工に在来種を使用することにより、良好な自然環境を保全する。 	△
地域の環境像	流域は、自然林と人工林からなる急峻な山間地域であり、人工林の手入れ不足等により集中豪雨時に下流へ多量に土砂が流出しているため、事業実施により地域住民の安心・安全を確保することが求められている。			
特記事項	同じ流域内で実施している治山事業、河川事業と連携を進める必要がある。			